

2020 年 11 月 8 日

- K Hネオケム株式会社 2020 年度 社会貢献活動実施レポート -

製造拠点ゆかりの地 千葉縣市原市で 第四回社会貢献活動を実施

K Hネオケム株式会社 広報室

K Hネオケム株式会社は、これまで実施してきた環境保全や地域コミュニケーションの活動を発展させ、2017 年より全社社会貢献活動を毎年継続して実施しております。世界のモノづくりを支える化学素材メーカーとして、活動第四回目となる今年も当社事業とゆかりのある「塗料」を用いて、当社千葉工場のある千葉縣市原市で社会貢献活動を実施いたしましたので、以下にご報告いたします。

社会貢献活動 概要	
実施活動	木製ベンチ 24 基の寄贈、敷地内ベンチ計 108 基の塗装補修
日程	2020 年 11 月 8 日（日） 13:00~16:00
実施内容 詳細	千葉縣市原市のスポーツ施設「市原スポレクパーク」に、木製のベンチ 24 基の新設。 また、社員と役員が敷地内ベンチ計 108 基の塗装補修作業を実施。
参加者	K Hネオケム株式会社 社員・役員合わせて 58 名 (本社:24 名 千葉工場:34 名) ※今年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から本社・千葉工場のみの参加に限定

活動の選択理由

今回、活動を行うにあたって、まず市原市役所の方々に「地域の皆さまに喜ばれる活動」についてご相談させていただきました。その後、市原市役所より活動候補のご提案をいただき、当社の「社会貢献活動のキーポイント」に沿ってご提案いただいた活動を精査致しましたところ、合致する項目が最も多い活動内容として、今回「市原スポレクパークでの木製ベンチ寄贈、および敷地内ベンチの塗装作業」が選ばれました。

《社会貢献活動のキーポイント》

- ① 貢献される側に喜んでもらえる活動である
- ② 社員が積極的に参加できる活動である
- ③ 継続的に実施可能な活動である
- ④ K Hネオケムを知ってもらうきっかけとなる活動である
- ⑤ 事業に関係する活動である

活動内容

今回の活動では、市原スポレクパーク敷地内に木製ベンチ 24 基を新設。また、当社の製品が使用されている塗料を用いて、社員と役員が新設・既存ベンチ合わせて 108 基を手作業で塗装しました。

当日は本社・千葉工場から 計 58 名が参加して活動を行いました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から参加者を本社・千葉工場のみに限定した関係で 1 人あたり約 2,3 基のベンチを塗装する必要がありました。当初は時間通りに作業を終わらせることができるか不安もありましたが、最後にはペンキが不足するほどの参加した従業員の熱心な作業により、無事に予定通り塗装作業を終えることができました。また、塗装作業には市原市長の小出譲治様にも駆け付けていただき、従業員の塗装風景を感心しながらご覧になりました。



塗装作業風景



市原市のマスコット「オッサくん」にもお手伝いいただきました

閉会式では、今回の社会貢献活動を記念した記念プレート除幕式を行った後、小出市長よりお言葉を賜るとともに感謝状を頂戴しました。最後には当社千葉工場の中橋工場長より、「今後も市原市や市民の皆さまへの恩返しの意味を込め、この市原の地で工場を安定安全に操業していきたい」と、閉会のご挨拶をさせていただき、本活動を終了しました。市原スポレクパークは、千葉県内でも有数の天然芝グラウンドであり、昨年のラグビーW杯開催時期にはキャンプ地としてアイルランド代表の選手が使用、また、日本の選手が多く所属する「サンウルブズ」も練習拠点として使用するなど、多くの方がスポレクパークを訪れました。来年には延期となっている東京オリンピックの開催を控え、市原市のスポーツ振興に少しでもお役にたつことができた今回の活動は、当社にとっても大変有意義なものとなりました。

本活動は、来年以降も継続して行っていく予定です。今後も地域の方々を始めとするさまざまなステークホルダーの皆様に対して、積極的、かつ継続的に貢献してまいりたいと考えています。



記念プレート除幕式を行いました



市原市より感謝状をいただきました

※写真はいずれも左：小出市長、右：高橋社長

本活動で中心となったスタッフの声



千葉工場総務課 島田雅人 さん

Q 1. 市原スポレクパークにおける社会貢献活動の取り組みについてどう思いましたか？

A：美しい天然芝と広い人工芝を有する市原スポレクパークは、ラグビーやサッカー、グラウンド・ゴルフ、スナッグゴルフといった多様なスポーツ施設で、日ごろから多くの方々が利用されています。そのような施設において、当社製品が使われている塗料を使用してベンチの新設・修繕が行えたことは、非常に有意義な取り組みであると思いました。

今後様々なスポーツ大会やイベント等でたくさんの方にベンチをご利用頂き、スポーツを通じて生まれる感動や達成感、観客との一体感の醸成に、今回の活動が少しでもお役に立てれば非常に嬉しい限りです。

Q 2. 今回の塗装作業に参加した感想

A：塗装作業は、コロナ感染予防のため十分手指の消毒を行ったうえで、3密を避けながら、一人あたり2～3基のベンチを担当しました。前日に雨が降っていたため天候が心配されましたが、当日は青空の下、会社の役職や上下関係にとらわれず、参加者の皆さんが協力し、楽しみながら塗装作業に励んでいました。塗装前には表面のキズが目立っている状態でしたが、塗装をすることで少しずつ生まれ変わっていくベンチの様子を目の当たりにし、皆さんのやる気の高まりを感じました。

作業の後にはベンチを塗りきったという達成感と満面の笑顔が市原スポレクパークに溢れていました。

Q 3. 社会貢献活動の取り組みに対して、社員として考える今後の展望（今後の市原市への貢献など）

A：我々工場が安全・安定に操業していくためには、地域の皆さまとの“つながり”が必要不可欠です。今回のコロナ禍で、改めてこの“つながり”の大切さがクローズアップされていると感じています。社会貢献活動は、当社の存在を地域の方に知って頂く貴重な機会です。出来ることから少しずつお手伝いをさせて頂くことで、実施する私たち自身も笑顔になれるし、何より市民のみなさんに笑顔を届けられる、双方にとって WIN-WIN となる活動を今後も継続していきたいと思っています。

市原市役所 担当者の声



市原市役所 スポーツ国際交流部 スポーツ振興課 鍋島圭吾 様

Q 1. 今回、弊社が市原スポレクパークのベンチおよび塗装補修作業を行ったことについてどのように思われましたか？

A：一昨年に木製ベンチ 84 基を寄贈していただいておりますが、昨年の台風等の影響により、一部のベンチで破損が生じ、表面の塗料が落ちているものが多く見受けられました。今回の社会貢献活動では、コロナ禍で大変な時期にもかかわらず、多くの従業員の方々にお越しいただき、木製ベンチの修繕や塗装を綺麗に仕上げていただくとともに、新たに 24 基のベンチを寄贈いただきまして、大変感謝しております。

Q 2. 補修後の一般の方々によるベンチ利用に対する感想や反応はいかがでしたか？

A：市原スポレクパークは各種大会やイベントで利用されることが多い施設ですが、この木製ベンチを利用して観戦される方も多く、「快適で助かります」との声が多く寄せられております。また、市原市では、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」の三つの視点からスポーツ推進をしており、市民の“みる”スポーツを推進する上でも重要な役割を果たすベンチになっていると思います。

千葉工場概要

ISO14001 認証登録工場

〒290-8560 千葉県市原市五井南海岸 11-1

TEL: 0436-23-9111 FAX: 0436-23-9129



千葉工場は、京葉臨海中央地区コンビナート内に 215,000m² の敷地を有しており、可塑剤原料である工業用高級アルコールや合成脂肪酸、炭化水素類などの機能性製品を製造しています。環境対応型エアコンなどで使用される潤滑油原料のイソノナン酸は国内では当社のみの製造で、海外に向けても供給されています。